



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL http://www.lecip.co.jp/hd/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	7,689	18.8	△455	—	△422	—	△419	—
2018年3月期第2四半期	6,471	△1.5	△876	—	△870	—	△679	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △376百万円 (—%) 2018年3月期第2四半期 △640百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△37.20	—
2018年3月期第2四半期	△61.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	13,203	2,592	19.6	228.34
2018年3月期	12,465	2,985	24.0	267.56

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,592百万円 2018年3月期 2,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	27.0	1,000	—	1,000	—	460	—	41.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	12,798,200株	2018年3月期	12,798,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,444,759株	2018年3月期	1,638,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	11,273,060株	2018年3月期2Q	11,102,623株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済においては、米国の強硬な通商・外交政策を背景とする貿易摩擦の激化や地政学リスクの再燃が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートいたしました中期5か年計画「CA2020」の重点課題である「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」「育成分野への経営資源のスムーズな移行」「海外ビジネスの黒字化」「業務プロセス改善による生産性の向上」の4つの課題に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、輸送機器事業、産業機器事業ともに、前年同期実績を上回り、売上高は前年同期比18.8%増の76億89百万円、営業損失は4億55百万円（前年同期は8億76百万円の営業損失）、経常損失は4億22百万円（前年同期は8億70百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億19百万円（前年同期は6億79百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となり、損失幅を縮小いたしました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は51億51百万円（前年同期比23.6%増）、営業損失は4億41百万円（前年同期は8億2百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場が39億86百万円（前年同期比34.9%増）、鉄道市場が6億98百万円（前年同期比3.5%減）、自動車市場が4億66百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

バス市場につきましては、当連結会計年度から、首都圏バス用ICカードシステムの更新が本格的に始まり、ICカードリーダーライタなどの売上拡大が続いていることから、大幅な増収となりました。

鉄道市場につきましては、海外において、北米向け鉄道車両用灯具の納入が進んだものの、国内において、前年にあった鉄道用液晶表示器等の大口需要の反動により、減収となりました。

自動車市場につきましては、トラック用LED灯具の販売は堅調に推移したものの、蛍光灯具の販売が減少し、減収となりました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は25億15百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は8百万円（前年同期は50百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が10億1百万円（前年同期比0.1%減）、エコ照明・高電圧ソリューション市場が3億90百万円（前年同期比11.3%増）、EMS市場が11億24百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

電源ソリューション市場につきましては、引き続き、バッテリー式フォークリフト用充電器の販売は好調に推移したものの、自家発電機自動運転装置などの販売が減少し、前年同期並みの売上となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、ガソリンスタンドやコンビニエンスストア等の店舗看板の掛け替えが進むなか、LED電源の販売が好調に推移し、増収となりました。

EMS市場につきましては、自動車の電子化が加速するなか、連結子会社レシップ電子株式会社で、自動車向けプリント基板実装の受託が大きく拡大し、増収となりました。

(その他)

当事業の売上高は22百万円、営業利益は3百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、7億37百万円増加し132億3百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が8億97百万円減少した一方で、商品及び製品が9億30百万円増加、仕掛品が2億74百万円増加、有形固定資産が1億61百万円増加、現金及び預金が69百万円増加、原材料及び貯蔵品が69百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億31百万円増加し106億11百万円となりました。主な要因は、受注損失引当金が3億15百万円増加、短期借入金が3億6百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が1億61百万円増加、賞与引当金が87百万円増加、支払手形及び買掛金が48百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億93百万円減少し25億92百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が5億11百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期予想につきましては、2018年5月11日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

下期以降も、引き続き、輸送機器事業において、首都圏バス用ICカードシステムの更新に係る大幅な売上の拡大が見込まれること、また、産業機器事業においても、連結子会社レシップ電子株式会社で自動車向けプリント基板実装の受託が好調に推移する見通しであることから、通期の業績予想は、当初の予想から変更なく、売上高200億円、営業利益10億円、経常利益10億円、親会社に帰属する当期純利益4億60百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,655	1,608,594
受取手形及び売掛金	4,530,186	3,632,838
商品及び製品	1,020,316	1,951,237
仕掛品	541,078	815,171
原材料及び貯蔵品	1,292,762	1,362,143
その他	592,472	558,121
貸倒引当金	△33	△39
流動資産合計	9,515,439	9,928,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	860,028	851,379
その他(純額)	555,208	725,141
有形固定資産合計	1,415,237	1,576,520
無形固定資産	480,008	488,053
投資その他の資産		
投資有価証券	640,581	646,547
その他	472,118	621,619
貸倒引当金	△57,850	△57,300
投資その他の資産合計	1,054,849	1,210,866
固定資産合計	2,950,094	3,275,441
資産合計	12,465,534	13,203,509
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,580,226	1,628,796
電子記録債務	1,602,447	1,544,578
短期借入金	2,998,645	3,305,590
1年内返済予定の長期借入金	628,236	789,919
未払法人税等	108,455	84,325
賞与引当金	305,897	393,537
製品保証引当金	80,259	72,223
受注損失引当金	56,540	371,544
災害損失引当金	—	37,717
その他	965,850	1,048,617
流動負債合計	8,326,558	9,276,850
固定負債		
長期借入金	622,861	647,030
従業員株式付与引当金	112,905	125,733
役員報酬BIP信託引当金	64,642	62,474
退職給付に係る負債	27,690	31,380
その他	324,973	467,587
固定負債合計	1,153,073	1,334,204
負債合計	9,479,631	10,611,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	747,580	747,580
利益剰余金	1,908,045	1,396,149
自己株式	△675,224	△599,330
株主資本合計	2,716,046	2,280,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,244	151,988
為替換算調整勘定	119,612	160,422
その他の包括利益累計額合計	269,857	312,410
純資産合計	2,985,903	2,592,454
負債純資産合計	12,465,534	13,203,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	6,471,335	7,689,129
売上原価	5,418,154	6,372,863
売上総利益	1,053,181	1,316,265
販売費及び一般管理費	1,929,331	1,771,283
営業損失(△)	△876,150	△455,017
営業外収益		
受取利息	11	5
受取配当金	6,866	7,408
為替差益	4,774	18,216
受取補償金	—	16,446
助成金収入	4,200	—
その他	5,583	6,193
営業外収益合計	21,436	48,269
営業外費用		
支払利息	14,227	14,627
債権売却損	372	154
その他	1,086	1,412
営業外費用合計	15,685	16,193
経常損失(△)	△870,399	△422,941
特別利益		
受取和解金	—	14,392
特別利益合計	—	14,392
特別損失		
減損損失	8,824	—
災害による損失	—	39,000
固定資産廃棄損	134	83
特別損失合計	8,958	39,083
税金等調整前四半期純損失(△)	△879,358	△447,632
法人税、住民税及び事業税	7,291	99,865
法人税等調整額	△206,975	△128,168
法人税等合計	△199,684	△28,302
四半期純損失(△)	△679,674	△419,329
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△679,674	△419,329

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△679,674	△419,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,403	1,744
為替換算調整勘定	4,959	40,809
その他の包括利益合計	39,362	42,553
四半期包括利益	△640,311	△376,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△640,311	△376,775
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△879,358	△447,632
減価償却費	210,278	214,121
減損損失	8,824	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△672	△544
賞与引当金の増減額(△は減少)	153,580	87,513
製品保証引当金の増減額(△は減少)	12,053	△8,386
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△14,136	308,652
従業員株式付与引当金の増減額(△は減少)	11,786	12,827
役員報酬BIP信託引当金の増減額(△は減少)	—	△2,168
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,020	3,690
受取利息及び受取配当金	△6,878	△7,413
支払利息	14,227	14,627
固定資産廃棄損	134	83
災害損失	—	39,000
受取和解金	—	△14,392
売上債権の増減額(△は増加)	2,136,171	898,808
たな卸資産の増減額(△は増加)	△372,126	△1,230,231
信託受益権の増減額(△は増加)	6,708	86,711
破産更生債権等の増減額(△は増加)	650	550
仕入債務の増減額(△は減少)	△978,933	△2,693
未払金の増減額(△は減少)	13,191	31,891
前受金の増減額(△は減少)	2,862	△216
未払消費税等の増減額(△は減少)	△179,642	△43,066
その他	63,805	△43,180
小計	206,545	△101,449
利息及び配当金の受取額	6,877	7,413
利息の支払額	△13,930	△14,951
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△179,480	△119,351
和解金の受取額	—	14,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,012	△213,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148,152	△181,946
有形固定資産の売却による収入	150	16
無形固定資産の取得による支出	△6,232	△61,803
投資有価証券の取得による支出	△3,009	△3,472
その他	△2,133	△1,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,377	△249,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△281,262	310,357
長期借入れによる収入	700,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△246,205	△314,148
自己株式の取得による支出	—	△1
自己株式の売却による収入	21,371	156,597
配当金の支払額	△92,962	△92,422
その他	△25,399	△31,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,542	529,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,120	3,830
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,702	69,939
現金及び現金同等物の期首残高	1,503,186	1,483,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,442,484	1,553,594

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,169,048	2,280,376	6,449,425	21,910	6,471,335
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,169,048	2,280,376	6,449,425	21,910	6,471,335
セグメント利益又は損失(△)	△802,075	△50,667	△852,742	2,845	△849,896

(注)「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△852,742
「その他」の区分の利益	2,845
全社費用(注)	△26,254
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△876,150

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、8,824千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,151,213	2,515,900	7,667,114	22,014	7,689,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,151,213	2,515,900	7,667,114	22,014	7,689,129
セグメント利益又は損失(△)	△441,086	8,227	△432,859	3,674	△429,184

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△432,859
「その他」の区分の利益	3,674
全社費用(注)	△25,833
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△455,017

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。